

や

まさき

い

ちのみや



山崎小学校 夏休みの体験学習として
アイマスク・点字ブロック体験(8/3)

土万小学校 学校の
スロープなどを使った
車いす体験(11/30)



山崎幼稚園
手話を交えた合唱を披露(23.2/19)

心のバリアフリーを育てよう!!

~幼稚園にも広がる福祉学習~

穴粟市社協では、市内の学校で行われる福祉学習に協力しています。子どもたちは、障がいや高齢者の疑似体験、手話や点字の学習などを通して、普段の暮らしとの違いや、思いやりの大切さに気づいています。

山崎幼稚園では、「手話は言葉と同じくらい伝える力がある」と、手話を練習し、2月19日(土)の生活発表会では、手話付きの歌を合唱しました。子どもたちの元気でいきいきとした姿に「入園の頃は、泣いてばかりだったのに」と、お母さんたちも感激していました。

こうした学習を行うことで、子どもたちが障がいを持つ人との間に心の壁を作らない「心のバリアフリー」が育ちます。

今後は、学校だけでなく自治会や福祉連絡会など、地域で行われる福祉学習のお手伝いをさせていただきます。

(山崎支部 森井裕矢)



保護者や先輩が見守り中のソロ演奏。
本当に緊張感がありました

一宮北中学校吹奏楽部は、夏の県吹奏楽コンクール西播地区大会S部門(小編成)で最優秀賞を、県大会と関西大会でもともに金賞を受賞しました。

秋に3年生が引退し、現在、部員は2年生4人、1年生5人。2月27日(日)、同中学校音楽室で行われたソロコンサートでは、生徒たちがソロ演奏を披露し、日頃の成果を発表しました。

「ソロは一人で吹くし、自分だけに視線が集まるので緊張しました。」と、トランペット演奏の

みんなの視線に高まる緊張 「宮北中吹奏楽部 ソロコンサート」

川戸真美さん(2年)。

みんなの前での発表に、生徒たちからとても緊張した様子が見られました。

顧問の段林知子教諭からは、「練習に励めるのは、家族の支えや地域の応援のおかげ。完璧が全てではなく努力することが大切」とメッセージを送りました。

コンサートの経験から見つけた課題は、生徒たちの大きな財産です。これからも部員一丸となつて練習に励んでください。

(本部・一宮支部 波多野好則)



「緊張せずに常に実力を発揮できるようがんばりたい。」と部長の長田紫帆さん